



かじか農園

三瓶わさび

▲かじか農園 景山さん夫妻

実はわさびの他にも、ヤマメやチョウザメの飼育も行っています。好きだから、興味があるからこそ動く！やってみる！そんな活力あふれる素敵なお夫妻です

三瓶山の麓で清らかな湧き水が流れる中に育つ、三瓶わさびをご存知でしょうか。

こだわりと情熱を持ちながら、その三瓶わさびを育てているかじか農園のご主人、景山悟至さんの本業は美容師です。元々、農業が大好きで、果樹類を育ててみたいと考えていたそうです。そんな折に、美容室のお客さんから、三瓶のわさび田をやってみないかという誘いを受け、かじか農園の設立を決意しました。

現在、わさび田の整備を始めてから10年が経とうとしています。この間、元々は根を石で押さえながら育てる方法の石づくりであったわさび田を、徐々に砂づくり（酸素を多く含む三瓶の軽石からできる根に優しい砂）のものにしようと手を加え、作業の邪魔となる倒木や石などを整備し、質の良いわさびができるよう尽力してきました。

全国のわさびの出荷量は現在、静岡及び長野の両県で全体の80%以上を占めている状況です。そんな中で、「三瓶わさびが生き残っていくためには、安定供給が大切だ」と悟至さんは語ります。「三瓶周辺の生産者が結集し、数は少なくても質の高いわさびを安定供給することが重要。『かじか農園のわさび』でなく、三瓶周辺の各生産者が一丸となって『三瓶わさび』として売り出していくため、今は三瓶全体での仲間づくりに取り組んでいる最中です」10年もの年月をかけて整備してきたわさび田を実際に目にする、こう語る景山さんの熱い思いがひしひしと伝わってきます。

また、「苗を植え、大きく育てて、成長したわさびのイモを触った時が一番嬉しい瞬間です」という悟至さんの言葉を聞くと、わさびに対する愛情や情熱を感じます。



▼わさび田の一部

農園全体でおよそ3万本のわさびが植えられています。砂づくりのわさび田では、石づくりと比べて早く立派に成長するため、苗を植えてからおよそ1年～1年半ほどで出荷できます。3年のローテーションで年間8千～1万本ほど出荷します

長い時間と労力をかけて整備をするわさび田も、たった一度の大水によって崩れてしまうこともあります。それでも景山さんは根気よく整備を続け、これほどのわさび田を作り上げました



▲ニューヨーク等海外への輸出も行っています。今はロシアへの輸出に向けて動いている最中です。温泉津の森山窯で作られたおろし器とのセット販売を考えています。香り豊かで辛すぎず、辛さの中に爽やかな甘みを感じることができ、何に付けても食品の美味しさを爽やかに引き立てます。おろしたわさびに塩を振り、そのまま食べるのもおすすめです！

▶上から見たわさび田

だんだん畑のようになっていくわさび田。三瓶山の湧き水が流れています。木漏れ日あふれる大自然の中、無農薬で育てられています



悟至さんの妻の美代子さんは、当初は農園の設立に反対でしたが、悟至さんと一緒に作業するうちに、自分なりの楽しみを見つけていることが出来たそうです。美代子さんは今では主に加工品を作る役割を担っています。後味のすっきりとした爽やかな甘みのあるわさびシャーベットや、新葉の辛さにこだわるために11～3月のみの期間限定で製造するわさび漬けなどを作っています。新鮮で質の高い三瓶わさびを使ったこれらの商品は、是非一度は口にして頂きたい大田の誇れる名産

品のひとつになりつつあります。

大田市に限らず全国で農業従事者の減少と高齢化が進んでいます。そんな中で、農業の担い手が協力し元氣よく農業に取り組む、若者にとっても魅力ある職業になるように、景山さん夫婦は日々奮闘しています。

また、かじか農園では将来大田市の観光資源としてもわさび田を活かせるのではないかとこのことを考慮し、作業の邪魔にならない倒木などをなるべく自然のままに残しています。

三瓶の麓に位置する大自然の中で、湧き水のせせらぎを聴きながら、美味しいわさび狩り。今後実現することとなれば、訪れると心が洗われるわさび田として、大田の素晴らしき観光資源となるかもしれません。

お買い求めはコチラから!!

かじか農園

TEL&FAX:0854-82-3581
E-mail:beauty-m@msl.megaegg.ne.jp

JAタウン(JA全農のネット販売)

<http://www.ja-town.com/shop/f/f0/>

上野屋蒲鉾店(和江のかまぼこ屋さん)

TEL:0854-84-8121 FAX:0854-84-8876
<http://www.e-sutokama.com/index.html>

コチラのお店で食べられます!!

せんりょうあん

千蓼庵(三瓶町小屋原の蕎麦屋)

☎0854-83-2900
<http://foodpia.geocities.jp/senryouan>

アンテナカフェ ハレの日(大田町のカフェ)

☎0854-82-5655
<http://www.harenohi-antenna.com>

シャーベット、わさび漬けなど大田市内で購入可能なお店もあります。詳しくは、かじか農園までお問い合わせください。